

教科(科目)	福祉(介護過程)	実施学年 (履修規定)	第2学年 必須
単位数	福祉科(2単位)	教科書	介護過程(中央法規)
		副教材	
科目の目標	人間としての尊厳の保持と自立生活支援の観点から介護過程の意義と役割を理解し、介護過程が展開できる能力と態度を育てる。		
目標達成に向けての取組	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス利用者が人間としての尊厳を保持しながら自立した豊かな生活が送れるようにするための、介護過程の意義や役割について理解できる。 ・他科目で学んだ知識や技術を統合して、介護計画を立案し、適切な介護サービスの提供ができる実践的な能力や態度を身につけることができる。 		

◇ 進度

月	単元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
4	介護過程の意義と目的	<ul style="list-style-type: none"> ○介護過程とは <ul style="list-style-type: none"> ・意義と目的 ・展開のプロセスと基本視点 ○生活支援の考え方と介護過程の必要性 <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援における介護過程の必要性 	ワークシート	<ul style="list-style-type: none"> ・介護過程について学習すべき内容が理解できている。 ・ワークシートが記入できている。
5	介護過程の理解	<ul style="list-style-type: none"> ○介護過程の全体像 ○アセスメント・計画立案・実施・評価 <ul style="list-style-type: none"> ・情報収集とアセスメントの実際 ・目標の設定 	ワークシート	<ul style="list-style-type: none"> ・介護過程の全体的像が理解できている。 ・ワークシートが記入できている。
中間考査				
6	介護過程の展開	<ul style="list-style-type: none"> ○介護過程の実践的展開 <ul style="list-style-type: none"> ・事例での介護過程の展開 	ワークシート レポート確認	・介護過程の思考で展開が理解できている。
7		<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントの実際 ○基礎実習 		
期末考査				
8	夏期休暇	○基礎実習	自己評価 実習記録	・情報収集とアセスメントが実施できている。
9	介護過程の展開	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎実習 ○基礎実習における介護過程の展開 <ul style="list-style-type: none"> ・実習の振り返りからの介護過程の展開 	実習記録 ワークシート	<ul style="list-style-type: none"> ・記録ができている。 ・実習を振り返り、まとめができている。
10		<ul style="list-style-type: none"> ・現場における情報収集、アセスメントの確認 ・記録の確認 	ワークシート	・収集した情報をもとに共有できるようにまとめることができる。
中間考査				
11	介護過程の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・実習報告のまとめ ・実習報告 	レポート 発表態度 自己評価	・報告が分かりやすく整理され、発表することができる。
12		<ul style="list-style-type: none"> ○同行訪問実習の振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・情報収集とアセスメントの確認 ・記録の確認 	レポート ワークシート	<ul style="list-style-type: none"> ・記録ができている。 ・実習を振り返り、まとめができている。
期末考査				
1		<ul style="list-style-type: none"> ・実習報告のまとめ ・実習報告 	レポート 発表態度 自己評価	・報告が分かりやすく整理され、発表することができる。

月	単 元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
2	介護過程の 展開	○実施と評価 ・準備と留意点	ワークシート	・実施と評価の意義・目的・ 内容等が理解できている。
3		○ケアマネジメントの全体像	ワークシート	・ケアマネジメントの全体像 が理解できている。
学年末考査				

評価の観点及び趣旨

科目を 2 年間で分割履修する初年度である。「介護実習」で多様な介護現場を実際に学ぶため介護実習（基礎実習）において 7 月末から 9 月初旬にかけて 23 日間の実習を実施する。その実習で実際の個別支援計画を立案するまでの情報収集・アセスメントが実施できるように、事前学習、実習中、実習後の指導を計画的に指導する。

①関心・意欲・態度

他科目に関して学んだ基本的知識や技術を総合して、サービス利用者に応じた適切な介護を提供するには計画的に行う介護過程が必要なことを主体的に学ぼうとする。

②思考判断

自立支援における介護過程において、個々の情報収集とアセスメントによって、介護従事者として必要な支援について総合的に思考し判断することができる。

③技能・表現

将来の自立に向けた生活課題の解決および目標の設定、サービス利用者の希望を尊重した介護計画の立案など、介護従事者としての必要な能力を表現することができる。

④知識・理解

人間としての尊厳の保持と自立生活支援の観点からの介護過程の意義と役割を他科目で学んだ知識と統合しながら、理解することができる。

「介護過程」の総合評価における各観点の割合

① 関心・意欲・態度	25%程度	②思考判断	25%程度
③ 技能・表現	25%程度	④知識・理解	25%程度